

3. 領域別の指標

(1)急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の早期リハビリテーション開始率

分子：分母のうち、入院後3日以内にリハビリが開始された患者数

分母：レセプト病名から推計された医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症3日以内)であった退院患者のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定された患者数。ただし、以下の場合を除外する。

・推計された医療資源病名以外の病名に「急性心筋梗塞」「起立性低血圧」「くも膜下出血」「脳内出血」「その他の非外傷性頭蓋内出血」のいずれか一つ以上が記載されている場合

収集期間： DPC 以外病院：平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月

脳梗塞は脳内の血管が血栓や塞栓などによって詰まることで、その部位の脳組織が壊死してしまう傷病です。障害の部位により、運動障害、感覚障害、言語障害等の種々の症状が生じます。脳梗塞の治療としては、超早期における血栓溶解療法、早期における脳保護療法などが行われます。こうした薬物治療の進歩により、その救命率は飛躍的に高まっています。しかしながら、入院後長期にわたり臥位状態が続くことで、筋萎縮や筋力低下、関節の拘縮、褥瘡、抑うつ的な精神症状といった症状が生じ、適切なリハビリテーションが行われないと、こうした症状が固定化し、患者さんの療養生活の質を大幅に低下させることとなります。このような症状を、心身の活動を行わないことによって生じるという意味で「廃用症候群」と呼ぶことがあります。この廃用症候群を防止するために、近年、発症後早期からのリハビリテーションを行うことがガイドラインでも推奨されています。本指標はそうした活動を評価するものです。

指標 14：急性脳梗塞患者に対する入院後 3 日以内の早期リハビリテーション開始率

医療機関種別	医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
DPC以外病院	140200014	神奈川県病院	27	25	92.6%
DPC以外病院	140800102	若草病院	11	11	100.0%
DPC以外病院	230400417	愛知県済生会リハビリテーション病院	44	33	75.0%
DPC以外病院	242705150	明和病院	29	29	100.0%
DPC以外病院	357810895	下関市立豊浦病院	13	10	76.9%
DPC以外病院	380210603	今治第二病院	13	13	100.0%
DPC以外病院	438212331	みすみ病院	12	8	66.7%
DPC以外病院	458110194	日向病院	56	36	64.3%
DPC以外病院 小計			205	165	80.5%
DPC以外病院 平均			26	21	80.5%

指標 14：急性脳梗塞患者に対する入院後 3 日以内の早期リハビリテーション開始率

